



メグスリノキ [目薬の木]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ムクロジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い、雌雄異株

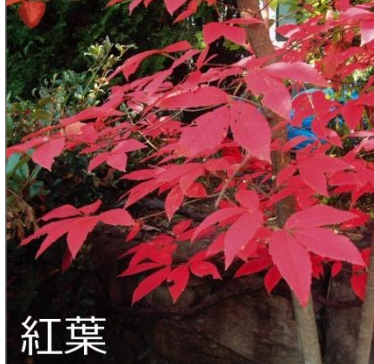
美しい紅葉が魅力のカエデ。大きな葉は、3つの小葉から構成される三出複葉（さんしゅつぷくよう）で葉柄や葉裏に毛が密生する。葉は対生するが、手の平状の掌葉ではないため、カエデの仲間とわかりにくい。宮城、山形県以南に、関東では高尾山などの山地に自生する。



緑葉



花



紅葉



実

Memo

「目薬の木」。一風変わった樹名は、昔、樹皮や葉を煎じて洗眼に利用した民間療法に由来する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸 花期						■							
🍒 果実									■	■	■		
🍁 紅葉											■	■	■
🌱 施肥		■	■	■									
✂️ 剪定		■ (春先の活動が早いいため2月上旬までがよい)											

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強		○		弱
潮風	強			○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
					○		

ポイント

独立的な配置にすると、色鮮やかな紅葉をよく観賞できるが、湿り気のある環境を好むので、西日や周囲からの輻射熱を避けたほうが美しく紅葉する。紅葉は昼夜の寒暖差があるほど鮮やかになる。

剪定

生長はやや早く、大きくなる樹。樹形が乱れるので、枝抜き剪定にて整姿する。大きくしたくない場合は早めに芯止めして樹高を抑えるとよい。切り口を消毒し傷口癒合剤を塗布する。

病虫害

ほかのカエデ同様に樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）とアブラムシに注意する。テッポウムシは幹下に木屑を見つけ次第駆除する。

呼べる蝶  ミスジチョウ